

土浦市

パロアルトの中学生が日本の姉妹都市に戻ってきました

コロナウイルス感染症による3年間の交流中断の後、ネイバース・アブロードは、主要な事業である日本への中学生交換交流を再開できることを嬉しく思います。10名のパロアルトと、4名の引率者とともに、広島、京都、姫路を訪れた後、5日間、土浦のホストファミリー宅でホームステイを行いました。この相互交換留学では、パロアルトの生徒は年の近い子供がいる土浦のホストファミリーとマッチングしました。土浦にいる間、生徒たちは日本人のバディとともに授業に参加し様々な科目を学びました。一部の生徒は「箏」という弦楽器(写真上部)の指導を受け、また一方で書道の指導を受けた学生もいます。和尚さんと、禅の瞑想に参加しました。(写真下部)

生徒たちは、土浦市長の安藤真理子氏、土浦市職員、土浦市国際交流協会会長の藤田佑子氏などと面会をしました。このダイナミックな交換交流プログラムを再開するためにご尽力くださった、ネイバース・アブロードの副会長であるジェニファー・ブエンロストロ氏とエブリン・シマザキ氏に感謝いたします。

そして、楽しみは始まったばかりです！土浦の生徒が2024年の3月にパロアルトに戻ってきますので、シリコンバレーでの生活を学ぶことに熱意のある彼らを受け入れていただける16の家族を募集しています。一週間だけの期間ですが、この交流が生涯続くことができしばしばあります。ホストファミリーとなる学生は、次の6月に日本に日本へ行くことができます。